

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用	
	性・ 年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
1	男 60代	直腸癌 (高血圧)	mFOLFOX6 療法+本剤 投与量不明 約5ヶ月間 ↓ FOLFIRI療 法+本剤 5mg/kg 1回/ 3週 ×5	血栓性血小板減少性紫斑病	
				身長：約160cm 体重：不明	
				本剤の投与4ヶ月前に直腸癌初発の診断	
				組織型：腺癌，診断時のTMN分類：StageIV M1，原発巣の部位：上部直腸	
				投与125日前	mFOLFOX6療法開始（約4ヶ月間）。
				投与開始日	mFOLFOX6療法+本剤投与開始（約5ヶ月間）。 投与開始時のPS：0，原発巣：有，転移病巣：肺，肝
				投与152日後	FOLFIRI療法+本剤1クール目投与。
				投与166日後	外来時動悸，息切れ自覚。
				投与168日後	この頃より下痢あり。発熱，炎症所見上昇なし。
				投与175日後	2クール目。
				投与193日後	この頃より発熱が出現するもすぐ軽減。
				投与196日後	3クール目。
				投与217日後	4クール目。4クール目終了後，口内炎出現。
				投与238日後 (最終投与日)	5クール目（5-FU bolusはなし）。口内炎は軽度だが下痢出現。
				投与終了14日後	外来受診。
				投与終了17日後	ADAMTS13活性：17.1%
				投与終了18日後	下痢出現。
投与終了19日後	発熱悪寒（重篤度不明）出現し入院。下痢に関する細菌学的検査：未実施。CTでは明らかな発熱のfocusなし。発熱は持続。				
投与終了21日後 (発現日)	採血で炎症所見の増悪と血小板の減少認め，IVHポート 抜去。抗生剤投与開始。 (夕方)見当識障害，意識レベル低下。下血，鼻出血， 血痰出現。腎機能悪化。尿量減少。 血液内科にコンサルトして血栓性血小板減少性紫斑病 (TTP)と診断。血漿交換開始。 1回目の交換後，一時的に意識レベル，全身倦怠感，血 痰など改善。				
投与終了22日後	(早朝)再度意識レベル低下。下血，血痰増悪。 (朝)死亡確認。 死因：TTP 剖検：未実施				

臨床検査値

	投与 151日後	投与 174日後	投与 195日後	投与 216日後	投与 237日後	投与終了 14日後	投与終了 19日後	投与終了 21日後 (1回目)	投与終了 21日後 (2回目)	投与終了 22日後
RBC (×10 ⁴ /mm ³)	305	287	264	277	303	291	259	234	241	243
Hb (g/dL)	9.1	8.9	8.0	8.4	9.1	8.6	7.8	7.6	7.4	7.3
Ht (%)	30.2	29.2	26.2	28.0	29.8	28.5	25.3	24.6	23.2	23.3
Plt (×10 ⁴ /mm ³)	25.6	24.5	21.1	27.7	32.3	23.1	22.8	4.9	2.7	1.7
CRP (mg/dL)	1.2	1.1	2.0	1.1	1.9	0.5	2.4	15.7	19.4	13.0
T-Bil (mg/dL)	0.53	0.60	0.39	0.35	0.35	0.34	0.47	2.28	2.26	4.00
AST (GOT) (IU)	73	80	51	79	61	58	75	255	688	528
ALT (GPT) (IU)	12	16	9	11	8	11	13	31	75	58
LDH (IU)	361	303	287	287	310	240	339	1,091	2,299	2,383
血清 Cr (mg/dL)	0.8	0.9	0.8	0.8	0.8	0.8	1.1	2.5	3.4	3.4
BUN (mg/dL)	11	11	11	11	13	9	14	25	33	38
e-GFR (mL/min/1.73m ²)	73.5	64.6	73.5	73.5	73.5	73.5	51.9	21.1	15.1	15.1

併用薬：オキサリプラチン，イリノテカン塩酸塩水和物，フルオロウラシル，レボホリナートカルシウム，ファモチジン，ピリドキサルリン酸エステル水和物，アムロジピンベシル酸塩，デキサメタゾンリン酸エステルナトリウム，グラニセトロン塩酸塩

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用
	性・ 年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置
2	男 70代	直腸癌 (早期胃癌)	5 mg/kg 1回/ 3週 × 2	血栓性血小板減少性紫斑病
				身長：約160cm, 体重：約50kg (本剤投与の約1年3ヶ月前) 直腸癌発症。
				本剤投与時の原発巣の有無：有
				転移巣：腹膜播種性転移(原発巣の初回診断時には、転移していた), 骨 PS：0
				不明日 他院にて手術施行。
				投与約16ヶ月前 Stoma造設施行。
				投与約15ヶ月前 Radiation施行(2ヶ月間)。
				投与約13ヶ月前 mFOLFOX6療法施行(7ヶ月間)。
				投与約5ヶ月前 sLV5FU療法施行(2ヶ月間)。
				投与開始日 本剤+FOLFIRI 1クール目。 退院中全身倦怠感, 下痢あり。
				投与21日後 (最終投与日) 2クール目。 本剤投与時に一過性に血圧上昇, 発汗あり。本剤+FOLFIRI療法投与中止。
				投与終了13日後 食欲低下, 全身倦怠感増悪。
				投与終了15日後 外来で補液。
				投与終了20日後 入院。全身倦怠感, 頸部痛, 腰痛出現。
				投与終了24日 ~27日後 発熱(38℃)。ロキソプロフェンナトリウム水和物で 解熱。
				投与終了27日後 Stoma部点状出血出現。
				投与終了29日後 (時間不明) 鼻出血 (夜)血尿出現。全身倦怠感増強。不穏, 意識レベル低下。
				投与終了30日後 (発現日) 39℃発熱。血栓性血小板減少性紫斑病(TTP)と診断。 プレドニゾン：500mg(3日間)→50mg(投与終了 53日後まで)→40mg(投与終了54日後から)投与。
				投与終了31日後 意識レベル改善。 血漿交換開始(投与終了31, 32, 34, 36, 39, 43日後 に実施)。 赤血球濃厚液：投与終了31, 32, 33, 47, 53, 54日後 に投与 血漿交換中止すると, 血尿出現, 血小板低下, T-Bil上昇 など離脱困難。
				投与終了33日後 ADAMTS13活性：43.3%
投与終了44日後 緩和治療へ移行。血尿, 全身倦怠感出現。				
投与終了49日後 血痰少量出現。				
投与終了50日後 意識レベル低下傾向。呼吸苦出現。酸素開始。				
投与終了58日後 (朝)死亡確認。 死因：TTP 剖検：未実施				

臨床検査値

	投与 20日後	投与終了 20日後	投与終了 30日後	投与終了 33日後	投与終了 36日後	投与終了 41日後	投与終了 47日後	投与終了 50日後	投与終了 53日後	投与終了 58日後
RBC (×10 ⁴ /mm ³)	345	297	218	205	267	253	178	191	130	197
Hb (g/dL)	11.1	9.5	6.9	6.2	8.1	8.0	5.9	6.3	4.3	6.4
Ht (%)	33.8	29.0	20.3	18.1	24.7	24.6	18.2	19.5	14.0	20.7
Plt (×10 ⁴ /mm ³)	19.3	16.7	4.8	2.5	4.7	6.5	3.0	2.1	3.4	1.0
CRP (mg/dL)	0.9	2.8	10.1	2.5	0.6	0.9	3.4	3.7	5.2	19.8
T-Bil (mg/dL)	1.13	0.67	4.20	1.75	1.72	2.03	1.65	2.15	1.81	6.41
AST (GOT) (IU)	49	27	358	35	46	—	39	51	94	237
ALT (GPT) (IU)	14	11	43	16	47	—	—	38	74	89
LDH (IU)	360	295	3,980	775	678	638	732	819	1,177	2,386
血清 Cr (mg/dL)	0.8	0.8	1.4	1.3	0.9	0.7	0.6	0.7	1.4	2.0
BUN (mg/dL)	7	9	26	49	28	19	25	26	92	62
e-GFR (mL/min/1.73m ²)	72.0	72.0	39.0	42.3	63.3	83.3	98.6	83.3	39.0	26.4

併用薬：イリノテカン塩酸塩水和物，フルオロウラシル，レボホリナートカルシウム，ラベプラゾールナトリウム，ピリドキサルリン酸エステル水和物，プロチゾラム，耐性乳酸菌製剤，ロキソプロフェンナトリウム水和物，グラニセトロン塩酸塩，デキサメタゾンリン酸エステルナトリウム